

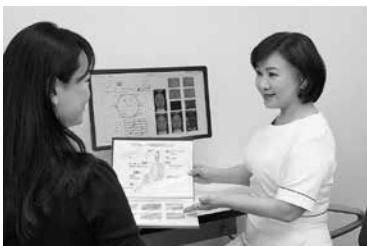
銀座医院と「健康美容ドック」展開

資生堂

資生堂は、医療法人財団百葉の会銀座医院（東京都中央区銀座、以下「銀座医院」と）協働で、美容に関心が高く、より美しく、健康やかでアクティブに過ごしたいと考える女性たちへの新たな提案として「健康美容ドック」の取り組みを6月1日より開始する。なお、予約受付は5月17日よりスタートしている。

健康美容ドックは、健康と美容が密接な関係にあることを踏まえ、また双方とも高いニーズがあることを踏まえ、「美しい肌の実現には心身の健康を保つことが大切である」という考え方にともづいて、抗加齢医療にいち早く取り組み、美肌にとって大切な堂が協働で開発した女性のための新たな健康・美容と、美容に関する栄養素

と食事のアドバイスを組み合わせる「美容ドック」を実施する。検査と検査結果を基に、2回の来院（2回目は検査結果の郵送も可能）を基本としている。2回目の来院時には、医師による健康指導に加え、資生堂が担当する美容専門家が



「キッザニア東京」にも石けん工場パビリオンを出展



石けんづくり体験が東京でも（写真は「キッザニア甲子園」）

牛乳石鹸共進社

た「キッザニア甲子園」とあわせて、子ども達に石けん作りの仕事体験を提供し、石けんの魅力やものづくりの素晴らしさを伝えていく「キッザニア東京」は、現代社会のほぼ2／3のサイズで造られ

によるスキンケアのアドバイスと、栄養士による栄養素・食事のアドバイスが受けられ、健やかで美しい生活をサポートする。なお、直近の健康診断結果（他院の受診結果可）を持参すると、健康

美容ドックの結果と合わせて、医師から健康アドバイスを受けることが出来るという。

石けんの原料となるニートソープを作る「けん化チーム」と、そのニートソープを乾燥させて固形石けんをつくる「成形チーム」の2チームに分かれて石けんづくりの仕事体験ができる。

同社では、仕事体験を通じて「生活に身近な製品である石けんの良さを認識し、改めて興味を持ってもらうとともに、石けんを自宅に持ち帰って家族との会話やバスタイムを楽しむ時間を過ごしてもらいたい」とコメントしている。

ファンケル

基礎研究を集約した「第二研究所」竣工

ファンケルは5月26日、総合研究所の敷地内に建設を進めていた「第二研究所」を竣工した。ファンケル総合研究所は、研究開発型企業としてファンケルグループ全体の事業を支える最先端技術の開発拠点であり、基礎研究から応用研究、製品開発研究まで一貫した研究開発体制をとっていることが大きな特徴だ。同社は、今回竣工する「第二研究所」をイノベーション研究所として位置づけ、美と健康の両領域における基礎研究を集約。脳科学研究、皮膚科学研究、製剤研究などの分野で革新的な研究を進めていく。

〈第二研究所概要〉

所在地 神奈川県横浜市戸塚区上品濃12-13 構造 鉄骨造（一部鉄筋鉄骨コンクリート造） 規模 地下2階、地上2階 面積 建築面積433.88㎡ 延床面積1764.90㎡ 竣工 2016年5月竣工（2014年8月着工）



建物右部分が竣工した「第二研究所」

私のH & B日記

「ライフスタイルランド」という言葉がやたらと聞こえてくる。商品を単にモノとして売るのはなく、その先にある生活や価値観みたいなものも提案する。そんなイメージだろうか。

また、シャンプーを中心とする「凜恋（りんれん）」も、国産原料を豊富に使用しており、販売目的の1つに農業や地方の活性化を明確にうたっている。これらは、自身の生

は恐い。企業の不祥事や産地、賞味期限の偽装が珍しくなくなり、思えば戦後ずっと続いてきた非戦や平和主義も、これから変わってしまうかもしれない。ライフスタイルとは、奥深い。（近

ライフスタイル

例えばスキンケアや問題ともつながっていることを示してくれている。それを知らずとも、広い意味でライフスタイルだと思っただけ、そこまで考えて消費するのは、楽

活や消費が環境や社会問題ともつながっていることを示してくれている。それを知らずとも、広い意味でライフスタイルだと思っただけ、そこまで考えて消費するのは、楽